

ボランティアセンターだより

鴻巣市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 597-2100

第264号

社協 HP は
こちら

鴻巣市箕田4211-1 鴻巣市総合福祉センター内

FAX 597-2102

令和8年2月発行

いつでも・どこでも・誰でも

そして楽しく



社協おとな大学ボランティア学科

フォローアップ講座実施しました！

今回は、聴覚障がい者のための国際スポーツ大会が東京で初開催され、地域の聴覚障がいのある方々の暮らしに目を向ける機会を目的とし「聴覚障がいの理解と聴覚に障がいのある方々の暮らしや社会資源を知る」をテーマに開講しました。

今回のボランティアセンターだよりでは、各講座の様子を写真とともに紹介します。

第1講座：アイスブレイクと活動紹介

第1講座では、卒業生同士の緊張を和らげるために、「バケツボール」を体験し、アイスブレイクについて学びました。

また活動紹介では、普段あまり知ることができない、それぞれの活動を知る機会となりました。

▼バケツボールに挑戦！▼



第2講座：聴覚に障がいのある方の暮らしを知る

第2講座では、講師に鴻巣市聴覚障害者協会の金子氏、講師アシスタントに鴻巣市手話通訳問題研究会の水野氏をお招きし、暮らしのことや日常生活の工夫についてお話しいただきました。

また、耳栓とイヤーマフを装着し、聞こえづらさを体験しました。聴覚に障がいのある方とのコミュニケーションについて、考える機会となりました。

さらに後半には、挨拶やちょっとしたおしゃべりなど、身近に使える手話を教えていただき、講師を相手に全員が実践しました。

▼手話を使ったあいさつ♪▼



第3講座：聴覚に障がいのある方々の暮らしをサポートする社会資源

▼講師の佐藤氏▼



第3講座では、講師にろう重複障害者専門の施設である「ふれあいの里どんぐり」から、佐藤施設長をお招きし、障がいを併せ持つ「ろう重複障害」の暮らしについて学習しました。

また、社会資源となる、本人や家族を支援する施設ができるまでの建設運動など、今日に至るまでの当事者や家族、支援者としての想いをお話しいただきました。

ボランティアグループ「手助けの会」の新たな活動

「手助けの会」は長年にわたり、市民の皆さんによって社協へ集められた古切手の整理を行っています。整理された切手は、深谷市の養護盲老人ホームひとみ園に届けられ、入所者様の生活に役立てられています。

そんな「手助けの会」の皆さん、古切手の整理と並行して、今年から新たな活動として行っているのが“社協フードバンク事業”等で集められた食料品の整理です。市民の皆様からお持ちいただいたものや、市内の(株)カスミさんより提供いただいた食料品を、調味料やお菓子などに分類し賞味期限等の確認や、値札のシールを剥がすなどの作業を行います。

「手助けの会」の皆さんの取り組みによって整理された食料品は、子ども食堂や食べ物にお困りの世帯など、必要とされる方に届けられています。

【提供いただいた食料品】



【賞味期限ごとに振り分ける】



鴻巣市シニアボランティアポイント事業 受入施設、増えています！！

「鴻巣市シニアボランティアポイント事業」は 65 歳以上の方を対象に、介護予防の推進と地域貢献を支援・奨励するために令和2年9月に始まりました。この事業は、対象のボランティア活動を行うとポイントが付与され、1年間で集めたポイントを換金できる制度です。

今年度は6施設が増え、令和8年1月現在、市内21の施設や事業所が鴻巣市シニアボランティアポイント事業の受入施設となっています。

おひとりでも、お仲間と一緒にでも、自分の好きなこと・できることがボランティア活動のきっかけになる、シニアボランティアポイント事業で地域とつながってみませんか♪

【活動の流れ】

ボランティア活動相談、
登録・手帳受け渡し

ボランティア活動・
スタンプをためる

ポイント数に応じて
支給される交付金
の申請・振込



掲載内容やボランティアに関するご相談は、
ボランティアセンターまでお気軽にご相談ください。

鴻巣市社会福祉協議会（ボランティアセンター）

TEL：048-597-2100 FAX：048-597-2102
<http://kouosu-syakyo.or.jp>